



北山田小だより



横浜市立北山田小学校
校長 滝川 尚美

「北山田パフェの実現を目指して」

～自分たちで考え、決定し、行動する子どもたちに～

校長 滝川 尚美

連日、日中の気温が35℃を超える記録的な猛暑が続いた夏でした。7月21日から始まった38日間の夏休み、皆様はどのように過ごされましたか。

我が家のそばの公園には、夕方になると虫捕り網を持った親子連れがよく見られました。どんな虫が捕れるのかなど様子を見てみると「こういう木に虫はいるんだよ」と言って大きな木を一生懸命に見上げている保護者の方のわきで、地面にかがみこみ、「セミの抜け殻あったよ!」と喜ぶお子さん。「いやいや、それを採りに来たんじゃないんだ」といった大人の様子にちょっとホンワカしました。大人は図鑑に載っているような昆虫の姿を見せたいところですが、子どもにとっての不思議や発見は違うところにあるのかもしれない。子どもは、初めて見るもの触れるもの、瞬間的に心惹かれたことに興味を向けます。回り道に見えますが、子どもたちの心が動いたところから学びは始まります。夏休みが終わり、また、学校生活が始まります。子どもたちの心を動かす学びの場をたくさん作っていききたいと思います。

さて、昇降口に、子どもたちで決めた今年度のテーマ「北山田パフェ」が掲示されました。5、6年生のリーダーシップ委員会(児童会)の子どもたちを中心に各学年の意見を取り入れ考えたテーマです。北山田パフェには、それぞれの目標をイメージした次のような具材が入っています。

○白玉…認め合い (1、2年生のアイデア)

★白玉は、柔らかくて和風→「相手に対して柔らかく接する」や「和風の和と友達との和をかけて仲良くする」ことにつなげています

○もも…自分から進んで (3、4年生のアイデア)

★ももは、自分から前向きに挑戦する「桃太郎」からイメージしました。

○ぶどう&生クリーム…チームワークと努力 (5、6年生のアイデア)

★ぶどうは、一粒、一粒が合わさって大きなひと房になるところから、チームワークのイメージにつなげました。また、一粒、一粒の大きさが異なるところは、個性をイメージしています。

★生クリームは、泡立てるのに根気がいるところから、努力することをイメージしています。



このパフェ、想像するだけでもとってもおいしそうです。目標をこんなHAPPYな形で表現する子どもたちが素敵です。それぞれの学年が、これから作り上げる北山田パフェ。見た目も、味もそれぞれの学年の個性があふれた最高のものになることでしょう。今から楽しみです。

そして、もう一つ、このパフェのすごいところは、期間限定の合言葉のトッピングがあるところ。今回は、夏休み明けの学校生活をみんなが安心して迎えることができるように「わたあめ」がトッピングされます。「わたあめ」には、「『わ』になって』『たのしく』『あんしん』『めざしたい』」という思いが込められています。これを実現するための取組として、「北山田パフェや合言葉の意味を朝会で伝え、各クラスでの実践を呼びかけること。」「各クラスで、合言葉を入れたポスターを作り校内に掲示すること。」「北山田小学校のみんなのいいところをポスト」を設置すること。」を子どもたちで考えました。ただ、実際に取り組んでいく中で、思うようにならないことはたくさん出てくると思います。そんなときには、「どうすれば北山田パフェの思いにつながるかな?」と問いかけながら、子どもたち自身の力で問題を解決できるように支援していこうと思います。「わたあめ」の取組がみんなの笑顔につながることを期待しています。保護者、地域の皆様、今月もどうぞよろしくお願いいたします。